

光ブロードバンドの更なる品質向上に向けた取組み

緊急対策

過負荷への耐力をつけるため、余力のある設備作りを行うこととし、以下の対策を緊急で実施

- (Ⅰ) トラヒック変動等への余裕度を勘案したネットワーク設備の収容基準を暫定的に設定し、この基準に基づくお客様回線収容に変更する。
- (Ⅱ) 輻輳や故障の影響を限定的にするために、エリアを考慮した収容に見直す。

本格対策

◇これまでに実施した『光ブロードバンド品質向上プロジェクト』の取組みに3つの柱を新たに加え、体制強化を図り、更なる信頼性の向上及び故障対応の迅速化に取り組む

- ① ネットワーク設備の性能の再評価、最適な収容基準の設定
- ② ネットワークの耐力強化等の検討
- ③ 質の高い品質管理体制の確立

◇IP系技術者の早期育成に向け、若手社員を含め技術開発分野への配置強化